



平成 30 年 4 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社 フ ジ ト ミ
 代 表 者 名 代表取締役社長 細 金 英 光
 (J A S D A Q ・ コード 8 7 4 0)
 問 合 せ 先 取締役業務本部長 新 堀 博
 電 話 0 3 - 4 5 8 9 - 5 5 0 0

当社の親会社 株式会社 小 林 洋 行
 代 表 者 名 代表取締役社長 細 金 成 光
 (東 証 第 1 部 ・ コード 8 7 4 2)

平成 30 年 3 月期連結業績速報について

平成 30 年 3 月期（通期）の連結業績につきましては、現在集計中ではありますが、現在までの集計結果に基づく業績見込は下記のとおりであります。

なお、当社は、的確な業績予想を行うことが難しいため、業績予想を開示せず、四半期毎に業績速報を開示させて頂くこととしております。

記

1. 平成 30 年 3 月期 通期（平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日）連結業績見込

(単位：百万円)

	営業収益	営 業 総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
平成 30 年 3 月期(連結)	1,783	1,383	△291	△261	△317	△47.98 円

(注) 前事業年度は連結決算を行っておりませんので、増減額及び対前期増減率は記載しておりません。

(参考)

	営業収益	営 業 総利益	営業利益	経常利益	当 期 純利益	1 株当たり 当期純利益
平成 29 年 3 月期(非連結)	1,771	1,391	△151	△114	△256	△38.69 円

2. 業績概要等

当連結会計年度の「投資サービス事業」の商品先物取引受託業務の受取手数料は 794 百万円（前年同期比 27.7%減）、金融商品取引受託業務の受取手数料は 376 百万円（同 237.1%増）となりました。また、商品先物取引自己売買業務の売買損益は 53 百万円の損失（前期は 50 百万円の損失）となり、金融商品取引自己売買業務の売買損益は実績がありませんでした（前期は 1 百万円の利益）。

「生活・環境事業」は保険募集業務の受取手数料が 173 百万円（前期比 20.0%増）、不動産の賃貸料収入は 43 百万円（同 8.5%減）、不動産販売の売上高は 369 百万円（同 9.8%増）となりました。また、太陽光発電機・LED照明等の売上高は 9 百万円（前期比 68.0%減）、映像コンテンツ配信の売上高は 9 百万円（同 75.0%減）となっております。

これらの結果、営業収益 1,783 百万円、営業総利益 1,383 百万円、営業費用 1,675 百万円、営業損失 291 百万円、経常損失 261 百万円となる見込みであります。

また、負ののれん発生益の特別利益 16 百万円などを含めた特別利益 34 百万円があったものの、映像コンテンツ配信事業廃止に伴う固定資産売却損 48 百万円及び金融商品取引基幹システムの変更による特別損失 29 百万円等を含めた特別損失 84 百万円があり、親会社株主に帰属する当期純損失は 317 百万円となる見込みであります。

(注) 上記に記載した数値は、現在までの集計結果に基づく速報値で、会計監査人による監査前であるため、後日開示する業績とは異なる場合があります。また、前事業年度は連結決算を行っておりませんので、対前期増減率は記載していません。

以 上